

学校教育目標

夢や志をもって、
自立して未来を担う大蔵っ子の育成

総合的な学校関係者評価

・コロナ禍の中、様々な制限や負担がある中、落ち着いた学校運営ができています。
・先生方は、子どもに寄り添い、また、個々の個性を生かす指導を行うなど、地域の宝である子ども達を大切に育ててもらっている。
・現在の学校運営方針を尊重し、「強く 明るく のびのびと」の校訓実現に向けた学校運営に継続して取り組んでほしい。

※文書表現で記入してください。

自己評価 達成状況 (A : 達成している B : 概ね達成している C : あまり達成していない D : 達成していない)

評価の観点		達成状況	学校の取組状況・今後改善すべきこと	自己評価の妥当性 (評価項目ごとの学校関係者評価・意見等)
学校運営	地域とともにある学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学級通信や学校たよりなどで学校の様子や取組を知らせることができた。 ●ホームページで学校の様子がわかる写真などの掲載ができなかった。 ○学校公開(授業参観)等は感染対策、人数制限などを行いながら実施できた。 ○新型コロナウイルスの影響で授業参観を1回取りやめたが、学級懇談会が今年度は実施でき、運動会は有観客とした。 ○今年は何の学年も「学年PTA行事」が実施できた。 ○年間5回以上の取材依頼をし、5回以上の新聞掲載等が実現できた。(学校賞2回受賞) ○生活指導委員会」を核とした組織的対応で、6年生のリーダーシップで落ち着いた学校生活が送れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート、児童対象アンケートなどから、学校における先生方の取組が理解されている。 ・大蔵小学校の伝統を引き継ぎ学校運営がされていることが嬉しいので、継続した取組をお願いしたい。
	生徒指導	A	<ul style="list-style-type: none"> ○各学級は安定した学級経営が行われており、専科など担任外の授業にも計画どおり取り組んでいる。 ○年間として「アロハ運動」に今年も取り組み、児童・教職員相互の目で落ち着いた学校生活を遅れた。 ○毎月の「児童アンケート」、職員間の円滑な人間関係により、情報交換が進み多くの目で児童を見守れた。 ○PTA教育講演会が昨年度に続いて実施でき、今年も5年生において「赤ちゃん先生」が実施できた。 ○ネット関係の学びのため、南但馬警察署(5.6年生)、県警サイバー対策課(全校生)を招聘することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの方針を尊重した来年度の学校運営方針を了承する。
	危機管理体制の整備	B	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員による毎月の「安全点検」が確実に実施でき、可能な限りの改善が実施できた。 ○「避難所運営マニュアル」の見直し、「引き渡し訓練」も実施できた。 ※避難訓練、引き渡し訓練は毎年実施するとともに、職員で予めシミュレーションすることも継続したい。 ※避難訓練に外部からの関わりを盛り込むことや、防犯に関する訓練を実施したい。 ●年間3回を計画した避難訓練が、コロナ感染等の理由で2回となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ番組で、親の虐待を相談した生徒への学校や先生の取り扱いが不適切で、勇気を出して訴えた生徒の思いが活かされなかったことが気になった。大蔵小学校ではこのようなことがないようにお願いしたい。
	特別支援教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の指導計画や個別の教育支援計画などに全教職員で取り組み、市教委からの一定の評価をいただいた。 ○「個に対する支援シート」は授業公開時に作成することとし、児童の的確な実態把握に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の子ども達に必要なことは地域における体験学習(農業体験、自然観察体験等)で、卒業した子ども達の心にも強く残っている。自治協が長く関わってきた尊い伝統で、大きな役割と成果である。地域の大切な子ども達を育てるために今後も引き継いでいくべきである。 ・東井義雄氏の「村を育てる学力、村を捨てる学力」と、平田オリザ氏の豊岡市での実践や著書「22世紀を見る君たちへ」などから、目先のことばかりにとらわれてはいけないし、保護者の思いと地域の方で子ども達を育てるべきと再認識している。
	安全安心に過ごすことができる学校づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な感染対策に取り組むとともに、市からの予算を有効に使用することができた。 ○次年度につながる対策も視野に入れて物品購入するなど、見通しをもって対応することができた。 ○学校からの感染防止対策に、地域や保護者の理解があり、確実な対策が実施でき、円滑な学校運営につながり、感染者の増大を防ぐことができた。 	
	あさごドリームアップ事業	A	<ul style="list-style-type: none"> ○大蔵地域自治協議会をはじめ、各機関のご支援のもと、農業体験をはじめ、環境、伝統文化に関する地域に根差した体験学習が実施できた。 	
	教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	B	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度のデジタル教科書実証事業の指定を活かしながら、学習者用のデジタル教科書の活用を図った。 ○「授業のユニバーサルデザイン化」に取り組み、わかりやすい授業の実施に努めた。 ○年度当初に和田山地区の「授業のUD化」に取り組む内容を確認し、年間をととして取り組むことができた。
基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTの進化に伴い、本や辞書による学びの大切さも取りあげられる中、「言葉集め」などで、各自が辞書を引く取組を今年も全校生で実施することができた。 ○児童の発表力向上の取組として、学年ごとのドリルを活用し学校として取り組むことができた。 ○道徳科の授業や評価を改善するため、講師を招聘した研修が実施できた。(今後は授業を見る研修につなげたい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達特性を踏まえた学習指導、生活指導が求められる度合いが保護者が育った時代と異なるので、先生方の支援や児童に寄り添った指導、多角的に見ていただくことを期待している。 	
道徳教育	B	<ul style="list-style-type: none"> ●児童個々の鉛筆の持ち方や正しい学習姿勢など、基礎・基本を支える部分の改善に向けては、教職員研修に留まった。 ●性に関する指導について、さらなる工夫を図りたい。 		
総合的な学習の時間	B	<ul style="list-style-type: none"> ●児童個々の鉛筆の持ち方や正しい学習姿勢など、基礎・基本を支える部分の改善に向けては、教職員研修に留まった。 ●性に関する指導について、さらなる工夫を図りたい。 		
課題教育	人権教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナに係る誹謗中傷の防止について、学校だよりや全校朝会などで何度も指導することができた。 ○新型コロナウイルス対策をして「じろはったん集会」が実施できた。また、集会だけでなく、10月を思いやりやさしさを考えたり実行したりする月間と位置づけ、全校的に取り組むことができた。 ○「じろはったん集会」の持ち方を工夫する中で、全校生が親子で考えた「人権標語」の代表作を学年代表が発表する場面を設け、人権尊重に対する意識の高揚が図れた。 ●自然学校は市内で和田山連合だけが日帰りとなったが、工夫して実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめの積極的認知」に関連して、間違いは素直に受け入れる、謝ること、子どもは間違いながら成長することなどは大人にも言えたり、大人でも共有したい。いじめ認知に対して「早期発見、早期対応」の教育現場の方向性も地域や保護者と共有したい。
	体験活動の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ○どの学年も給食指導と食育の授業に朝来市の学校栄養教諭を招聘して実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・我が子の発達の特徴に対して、支援等の方向性を先生から持ち掛けられて気づき助かった経験があるので、今後このような取組をお願いしたい。
	食育の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育の根幹として、その学年の学力をしっかりと保証するため、補充学習や各学期のめあてを表示するなど、全校で取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「給食を食べる会」など校内ではあいさつができるが、校外でのあいさつはもっと頑張してほしい。高学年児童のアンケート回答と通じるものがある。
	キャリア教育	B	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育の根幹として、その学年の学力をしっかりと保証するため、補充学習や各学期のめあてを表示するなど、全校で取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での「ながら見守り」に努めてほしいし、老人クラブや区長会でも継続して呼び掛けてほしい。
その他	地域とともにある学校づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスへの対応を図りながら「給食を食べる会」を自治協と共同で計画し二回目を終えることができ、足掛け3年間で延べ300名に近い方々をお迎えすることができた。校舎を案内し子ども達の様子を参観いただくことで、学校への興味や関心を持ってもらえた。また、新たに地域の方の作品展示等にこぎつけ、新たな来校者を開拓できた。 	